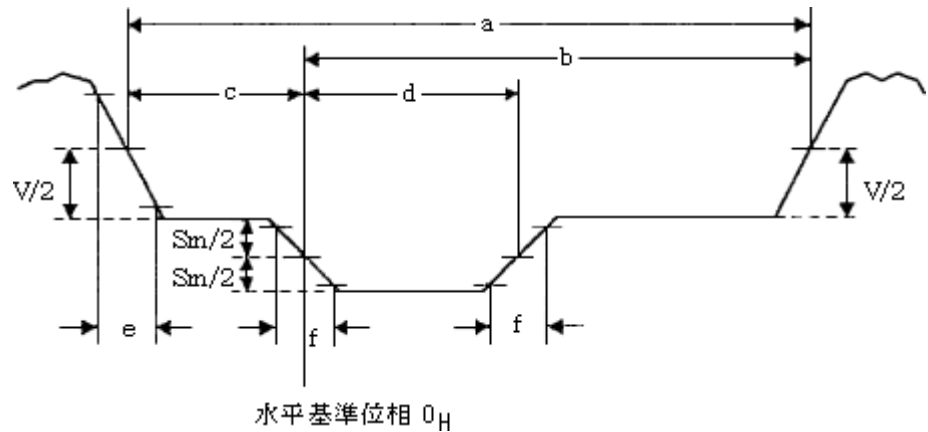


別図第四号の八の六 水平同期信号及び垂直同期信号の波形の許容範囲(第37条の27の16
第1項及び第37条の27の19第1項関係)

1 走査線数が525本であつて、走査方式が1本おき及び順次の場合の水平同期信号

(1) 水平同期信号の波形



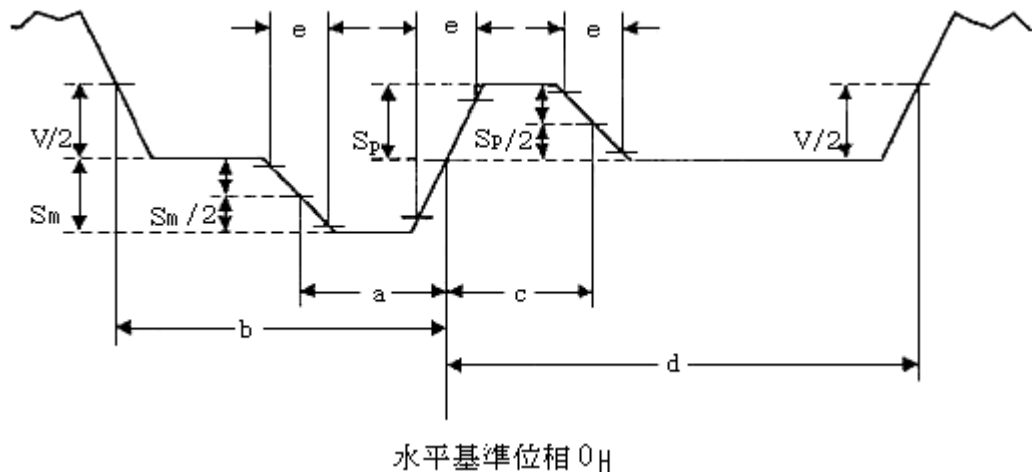
(2) 水平同期信号の許容範囲

項 目		許 容 範 囲	
記 号	走 査 線 数	525本	
	走 査 方 式	1本おき	順次
a	水平ブランキング期間(μs)	$10.70 + 0.30$ -0.20	$5.35 + 0.15$ -0.10
b	映像信号開始点(μs)	$9.20 + 0.20$ -0.10	$4.60 + 0.10$ -0.05
c	映像信号終了点(μs)	1.50 ± 0.10	0.75 ± 0.05
d	負極性パルス幅(μs)	4.70 ± 0.10	2.35 ± 0.05
e	水平ブランキング立ち下り時間(10~90%) (μs)	0.14 ± 0.02	0.07 ± 0.01
f	水平同期信号立ち下り／立ち上り時間(10~90%) (μs)	0.14 ± 0.02	0.07 ± 0.01
S _m	負極正パルス振幅(mV)	300 ± 7.5	300 ± 7.5

注 Vは映像信号の振幅を示し、700(mV)である。

2 走査線数が750本であつて、走査方式が順次の場合の水平同期信号

(1) 水平同期信号の波形



(2) 水平同期信号のレベルの許容範囲

記 号	項 目	許 容 範 囲
S _m	負極性パルス振幅 (mV)	300±6
S _p	正極性パルス振幅 (mV)	300±6

(3) 水平同期信号の許容範囲

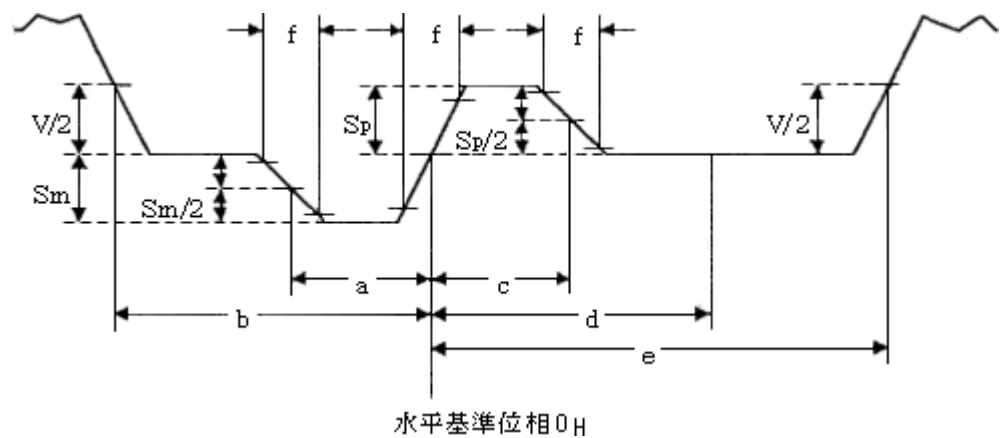
記 号	項 目	許 容 範 囲
a	負極性パルス開始点 (T)	40±3
b	映像信号終了点 (T)	110-0 +6
c	正極性パルス終了点 (T)	40±3
d	映像信号開始点 (T)	260-0 +6
e	パルス立ち上がり時間／立ち下がり時間 (T)	4±1.5

注1 Tは基準クロック期間を示し、輝度信号標本化周波数の逆数である。

2 Vは映像信号の振幅を示し、700 (mV) である。

3 走査線数が1125本であつて、走査方法が1本おき及び順次の場合の水平同期信号

(1) 水平同期信号の波形



(2) 水平同期信号のレベルの許容範囲

記 号	項 目	許 容 範 囲
Sm	負極性パルス振幅 (mV)	300 ± 6
Sp	正極性パルス振幅 (mV)	300 ± 6

(3) 水平同期信号の許容範囲

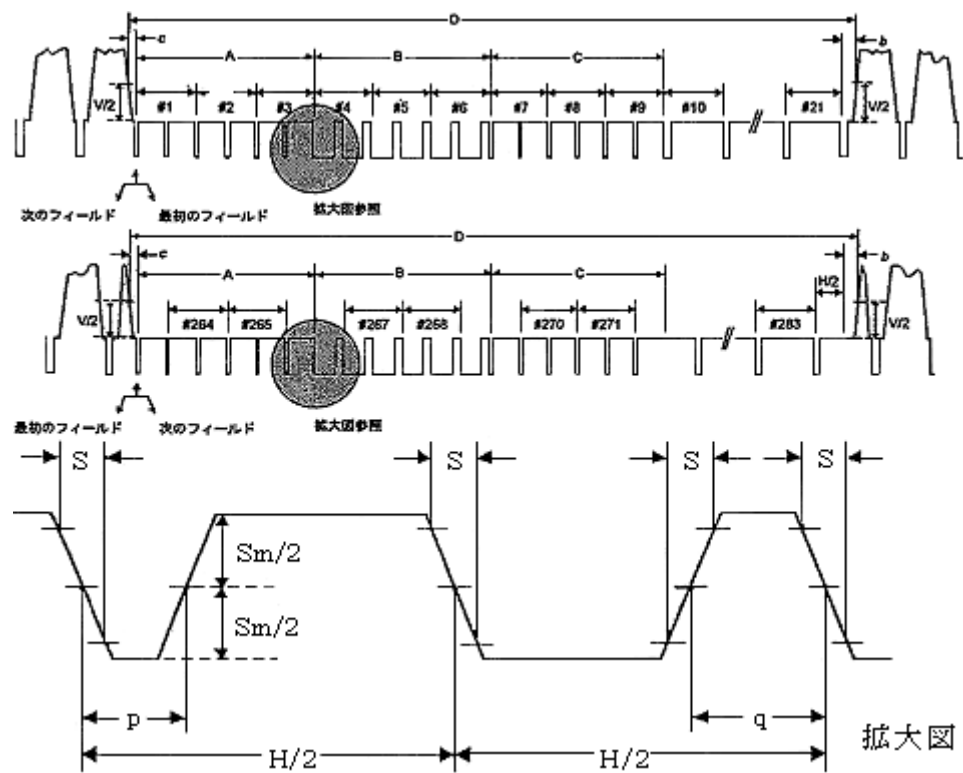
記 号	項 目	許 容 範 囲
a	負極性パルス開始点 (T)	44 ± 3
b	映像信号終了点 (T)	$88 - 0$ $+6$
c	正極性パルス終了点 (T)	44 ± 3
d	クランプ終了点 (T)	132 ± 3
e	映像信号開始点 (T)	$192 - 0$ $+6$
f	パルス立ち上り時間／立ち下がり時間 (T)	4 ± 1.5

注1 Tは基準クロック期間を示し、輝度信号標本化周波数の逆数である。

2 Vは映像信号の振幅を示し、700 (mV) である。

4 走査線数が525本であつて、走査方式が1本おきの場合の垂直同期信号

(1) 垂直同期信号の波形



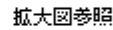
(2) 垂直同期信号の許容範囲

記 号	項 目	許 容 範 囲
D	垂直ブランキング期間(μs)	$21H + 10.7 + 0.30$ -0.20
A	等化パルス期間(H)	3 ± 0
B	垂直同期パルス期間(H)	3 ± 0
C	等化パルス期間(H)	3 ± 0
s	垂直同期パルスの立ち上がり／立ち下がり時間(10—90%)(μs)	0.14 ± 0.02
p	等化パルス幅(μs)	2.30 ± 0.10
q	垂直セレーシヨンパルス幅(μs)	4.70 ± 0.10

注1 Hは1水平走査期間を示し、 $1001/15.75(\mu s)$ である。

2 a、b、c、Sm及びVは、1の(2)に示す値とする。

(1) 垂直同期信号の波形



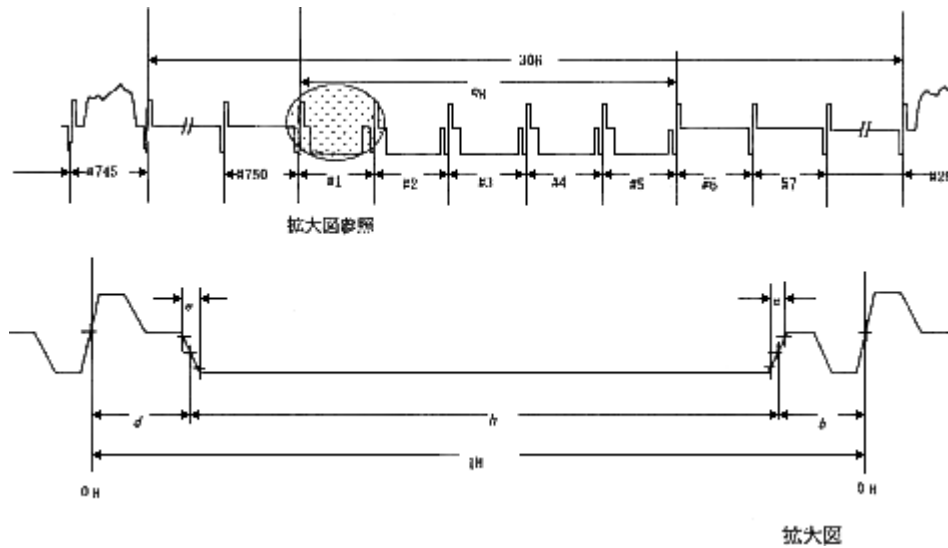
(2) 垂直同期信号の許容範囲

注1 Hは1水平走査期間を示し、 $1001/31.5(\mu s)$ である。

2 a、b、c、 S_m 及びVは、1の(2)に示す値とする。

6 走査線数が750本であつて、走査方式が順次の場合の垂直同期信号

(1) 垂直同期信号の波形



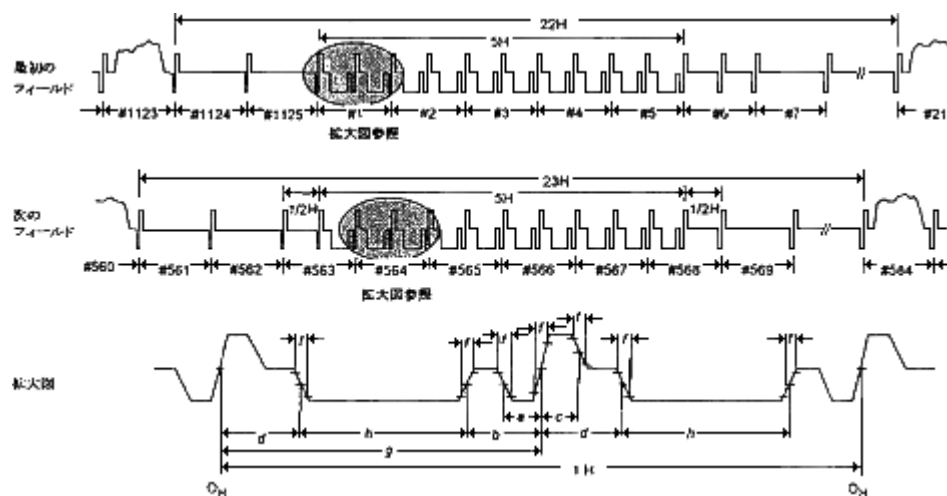
(2) 垂直同期信号の許容範囲

記 号	項 目	許 容 範 囲
H	1ライン期間(T)	1650±0
h	垂直同期パルス幅(T)	1280+0 -12

注 Tは基準クロック期間を示し、輝度信号標本化周波数の逆数である。

7 走査線数が1125本であつて、走査方式が1本おきの場合の垂直同期信号

(1) 垂直同期信号の波形



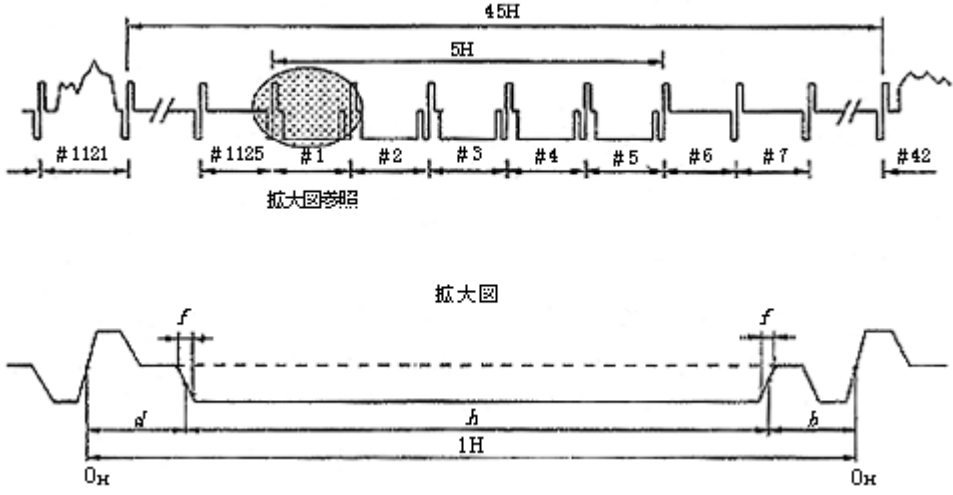
(2) 垂直同期信号の許容範囲

記 号	項 目	許 容 範 囲
H	1ライン期間(T)	2200 ± 0
g	1/2ライン期間(T)	1100 ± 0
h	垂直同期パルス幅(T)	880 ± 3

注 Tは基準クロック期間を示し、輝度信号標本化周波数の逆数である。

8 走査線数が 1125 本であつて、走査方式が順次の場合の垂直同期信号

(1) 垂直同期信号の波形



(2) 垂直同期信号の許容範囲

記 号	項 目	許 容 範 囲
H	1 ライン期間(T)	2200 ± 0
h	垂直同期パルス幅(T)	1980 ± 3

注 Tは基準クロック期間を示し、輝度信号標本化周波数の逆数である。